

諏訪形入門

5月28日（日）、「諏訪形自治会交流親睦会」の一環として、第8回「諏訪形誌を歩く」イベント「諏訪形入門」が行われました。当日は晴天の下、21名の皆さんにご参加いただきました。このイベントの様子を紹介させていただきます。

なお、諏訪形誌活用委員会顧問北沢伴康さんの講演と当日配布の資料は別途アップいたします。

今回は、諏訪形誌活用委員会顧問北沢伴康さんによる「諏訪形入門」の講演と、地域内探訪の2本立てです。まず、諏訪形公民館で北沢さんの講演を聴かせていただきました。『諏訪形誌』の記述に沿っての歴史の話を中心に、『諏訪形誌』発刊後にわかったことや本誌には書けなかったエピソードなども含めて講演していただきました。

なお、この講演内容は当ホームページでお聴きいただけます。



その後、諏訪形誌活用委員会の窪田善雄委員にも現地説明に加わっていただき、2時間ほどかけて道祖神、カンカン石、若宮学校跡、荒神宮、郷倉跡、小菅訓導殉職記念碑、宮下惇徳翁碑、諏訪神社など諏訪形の「名所巡りウォーキング」を行いました。



＝ご参加いただいた皆さんの感想＝

- ・諏訪形のことをよくわかってきました。宮下惇徳翁頌徳碑には関心があり、初めて見学できてよかったです。
- ・良い天気のもとで歩くことが何よりでした。こうして誘ってもらえるから参加することができた。ありがたいです。
- ・「諏訪形誌を歩く」ことに感激です。ふだん、小菅訓導碑などに自然に足が向きます。本当に「諏訪形誌」のおかげだと思っています。